

# キャンプ地招致に関する財政支援の充実

## 奈良県における取組

【担当省庁】 スポーツ庁

### 1. 「キャンプ地・奈良」の推進

東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地招致活動を積極的・継続的に実施し、出来るだけ早期の招致国決定を目指している。

#### 【キャンプ地招致の効果】

##### ◆国の効果

東京オリンピック・パラリンピックをオールジャパンで盛り上げ、大会参加国等との人的・経済的・文化的な相互交流を全国各地に広げる。

##### ◆県の効果

- ・キャンプ(合宿)地招致を契機とした施設の機能向上・発信
- ・日本のはじまり“奈良”の歴史・文化を発信
- ・国際交流による地域の活性化・経済波及効果



#### 【主な取組】

##### (1) 県・市の連携によるキャンプ地招致

①県と橿原市、五條市、御所市、葛城市の4市で、スポーツを通じて地域を活性化するための包括協定を締結

人的・施設面の課題を相互に補完しながら、以下の招致活動を展開

- ・ウクライナ(陸上／橿原市)
- ・カザフスタン(女子バレーボール／橿原市)
- ・アンゴラ(女子ハンドボール／五條市)

②県・市連携による招致活動を展開

- ・オーストラリア(女子サッカー／奈良市)
- ・エジプト(柔道／天理市)

※県、市、競技団体等で構成する天理市スポーツキャンプ地推進実行委員会(会長:市長)を設置



## (2) 水泳の拠点施設（スイムピア奈良）の活用

設計段階から民間事業者のノウハウや創意工夫が反映され、競技団体からも高く評価。

- ①東京パラリンピック(水泳)の有望選手の強化練習を実施(ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト)
- ②地元市(大和郡山市)と連携したキャンプ地招致活動の展開・強化練習を行う海外チーム(香港等)のサポートや交流等



【関係市町村】奈良市、天理市、大和郡山市、橿原市、五條市、御所市、葛城市

## 国にお願いすること

### 1. キャンプ(合宿)地としての備品・機器整備への財政支援の充実

- ・東京オリンピック・パラリンピックの基本コンセプトの1つが「全員が自己ベスト」であり、キャンプ地においても全てのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる万全の準備と運営が必要。
- ・このため、ナショナルチーム等のトレーニングに必要な備品・機器(※)を整備してハイレベルな練習環境を整え、地域から東京オリンピック・パラリンピックを支えていきたい。

#### ※トレーニングに必要な備品・機器

- ①選手のけが防止や身体の負担軽減や
- ②選手のフォームチェック等のために必要な備品・機器



ハンドボール用マット



水泳フォーム撮影システム



ハイレベルの練習環境を提供するうえで必要となる備品・機器の整備について、国際スポーツキャンプの誘致決定に伴う諸室の改修等と同様に、スポーツ振興くじ助成(スポーツ施設等整備事業)の対象となるよう、制度拡充をお願いしたい。